



# やまゆり



## 巻頭言 濱田理事長

2022年度の5月県連総会において、理事長に就任した濱田雅弘と申します。前任の藤本理事長の任期満了に伴い、本年度から県

連運営の舵取りをすることになりました。

本年度は私たち神奈川連盟も新たに一般社団法人に移行いたしました。今後は、今まで以上に社会的な責任を果たし、皆さまからのご支援とご協力を得ながら、更なる活動の充実を図る所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

ここ数年、私たちスカウト活動が様々な場面で制限されて参りました。今年の大きなイベントであった第18回日本ジャンボリー神奈川サテライト会場開催も、残念ながら見送ることになりました。

しかし、そんな中でも県下の団及び地区においては、コロナ感染に細心の注意を払いながらも工夫を凝らし、活動を継続して快活に過ごしていると聞くにつけ、『Scouting never stops』の実践であると嬉しく思います。

コロナ禍における活動制限が完全に解除されるまで、今できること、今準備しておくことをスカウトも指導者も知恵を絞って発見する。そして、それらの発見が楽しく、充実した活動に結びつくよう努力して欲しいと願っています。私は、一人でも多くの仲間たちに私たちが持つスカウト活動の経験則を大事にしながら観察力を養い、物事を判断すること。また、一方でIT

技術やデジタル技術を利用して様々な課題の解決に役立たせるなど効率化を図ること等、今までのやり方とこれからの異なる仕組みを取り入れた運営を推進したいと考えています。少しでも役立つよう頑張りますので、宜しくお願い致します。

## 18NSJ 神奈川サテライト報告



神奈川連盟として実行委員会のもと、開催準備を進めていた第18回日本スカウトジャンボリー・神奈川サテライト会場の実施は、爆発的な新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う川崎市内の医療現場のひっ迫を踏まえ、7月24日の神奈川連盟臨時理事会で開催中止を決定しました。

18NSJ 実行委員会では、なんとか開催できないか、特定病院との提携の協議なども行いましたが、問題解決に至りませんでした。コロナ感染症の急速な拡大とそれに伴う医療体制のひっ迫は、準備してきた救護・安全体制が対応できないレベルになっていると判断、神奈川県からの特別な行動制限は発出されない状況でしたが、実施の12日前での開催中止決となりました。参加者には、日本連盟大会参加費用や神奈川連

盟の帽子などのグッズの経費を除いて、地区を通じて返金を行いました。

「ジャンボリーサマー」として、サテライト会場同様の 5 泊 6 日の活動を実施された地区や団(合同含む)もあり、18NSJ 参加登録済となっていたスカウトたちは日本一プログラムへ挑戦し、ジャンボリー・アワードも取得しています。

8 月 9 日に行った「One day Jamboree 東扇島」には 324 人のスカウトが集まり、現地での日本一プログラムなどに参加。ローバーらが用意した夏祭りを楽しみ、キッチンカーでの軽食や、地元企業から差し入れられたアイスクャンディをいただきました。

大型ビジョンカーが持ち込まれたステージでは、キャンプ中のスカウトとの中継や、来場した山梨県連スカウトへのインタビューも大画面で映し出し、交流を深めることができました。

「ファイナルナイト」では、TBS の番組「冒険少年」に出演中のあばれる君が、「君たちの仲間から来て欲しいと言われた」とサプライズゲストとして登場し、会場のスカウトを盛り上げてくれました。

地元の川崎第 43 団でスカウト経験もある福田紀彦川崎市長から、歓迎と励ましの挨拶をいただき、18NSJ のために訓練をしてきた県央カラーチームや横浜フラッグチーム、スカウトの演技も披露されました。

このために多大な努力をしていただきました関係者の皆さま、参加したスカウトの皆さまに心より感謝申し上げます。

#### 神奈川ジャンボリーサマー特集

国や自治体の行動制限がない 3 年ぶりの夏となった 2022 年。県内の多くのスカウトが、ジャンボリーサマーとしての活動を展開しました。

コロナ禍のキャンプとして定着したソロテントでは、就寝後の仲間とのひそひそ話が出来ないのは残念ですが、仲間とのかけがえのない野外生活を共にしたようです。

ここでは、18NSJ 神奈川サテライト実行委員会の広報部の任務にあたった組織戦略委員会に集まった各地区・団・隊のジャンボリーサマーの活動の報告を元に、2022 年夏を紹介します。

#### 【川崎地区】

[川崎第 22 団(8 月 9 日)]One day に参加したボーイ隊は、「風は強いけど陽射しが痛い」東扇島を実感しつつ、夏祭りのゲームを楽しみました。

[川崎第 43 団(8 月 8-9 日)]ボーイ隊は、川崎市麻生区の黒川野外活動センターでジャンボリーサマーの一泊キャンプを行いました。日本一プログラムの班旗たてに取り組んだほか、9 日は One day のファイナルステージではスタントを披露しました。演目はジョン・ブランの手旗です。前日に練習しただけですが、よくできたそうです。

[川崎第 54 団(8 月 11 日-12 日)]1 泊 2 日で、いつも利用している黒川青少年野外活動センターで夏キャンプを実施しました。団キャンプと合わせて 5 泊 6 日の日程で実施する予定でしたが、コロナの影響で短縮開催を余儀なくされました。メインは 18NSJ の企画の 1 つであるジャンボリー日本一プログラム。火おこし、班旗立て、手旗信号を実施しました。

[神奈川 2 隊(8 月 9 日)]川崎地区の川崎第 38 団、川崎第 56 団、川崎第 57 団で構成する 18NSJ 神奈川 2 隊は、東扇島東公園で開かれた "OneDayJamboree 東扇島"での日本一プログラムに参加し、川崎ウルブズ=マイザクラ混合班と、パブロピカソ=みずごはん混合班が好成績

を残しました。2 隊では、6 月 19 日に川崎市麻生区の王禅寺四ツ田緑地で、合同訓練で、班旗の製作や日本一プログラムの練習なども行っていました。

#### 【横浜地区】

[横浜 58 団 8 月 7 日]神奈川第 5 隊派遣隊に参加しているチャーハン(班)は、夜の大集会の前に、東扇島東公園の芝生で京浜運河を前に一休みしました。

[横浜第 82 団 8 月 7 日]82 団は、夕暮れのまだ陽が残る中里野営場に特設スクリーンを設置し、17NSJ に参加した VS 隊も加わって、オンラインでジャンボリー大集会に参加。スカウトは「画面が大きいので現地にいる臨場感があった」と感想を述べてました。この日の日中は、ボーイ隊のイーグル班が、日本一プログラムの火起こしでその時点で全国 1 位となる記録をたたき出しています。みんなで役割分担をしながらテキパキやったのがよく分かります。

[横浜第 132 団(8 月 4-10 日)代表スカウトキャンプ]埼玉県の秩父ミュージズパークで行われた 18NSJ 代表スカウトキャンプに、132 団のスカウトが参加しました。「ジャンボリーって感じがしたし、いろんな人と交流できて楽しかった!」、「今回のジャンボリーでは、代表スカウトととして楽しく活動することの大切さを学びました。なのでコロナ禍でも挫けず楽しく笑顔で活動に取り組むことを忘れないで欲しい」と、仲間へのメッセージを寄せてくれました。

[神奈川第 5 隊(8 月 7 日、9 日)]横浜地区の横浜第 17 団、横浜第 19 団、横浜第 57 団、横浜第 58 団、横浜第 79 団で構成する 18NSJ 神奈川第 5 隊は 8 月 7 日、神奈川サテライトが実施されるはずだった富士通スタジアム川崎のかわ Q

ホール、東扇島東公園、川崎マリエンを訪問しました。川崎マリエンでは、キャンプ中の横浜第 88 団と第 99 団の神奈川第 10 隊を表敬し、夜は大集会に参加。9 日は One Day Jamboree に参加しました。

[神奈川第 6 隊()]横浜地区の横浜第 20 団、横浜第 83 団、横浜第 103 団、横浜第 132 団、横浜第 173 団で構成する 18NSJ 神奈川サテライト 6 隊は、代替キャンプで生活しながら、日本一プログラムにチャレンジ。7 日のジャンボリー大集会や 9 日の One Day Jamboree にも参加しました。

#### 【みなと地区】

[横浜 11 団(8 月 5-10 日)]相模原市の上大島キャンプ場を拠点に、県央地区のキャンボリーや、東扇島東公園の One Day Jamboree へ日帰り参加したり、ハイキングやつりなどをしながら、ツチノコ班は「first」、ウルフ班「Forever」の「f」を探しました。

[横浜 27 団(8 月 7-10 日)]団の野営場でジャンボリーサマーを行い、ハイキングや日本一プロ、アマチュア無線の交信見学、天体観測を行いました。One Day Jamboree ではライブ中継に登場し、「Frontier = 頭を開拓をして最先端に」、「First = キャンプでの行動を早く」、「Freedom = コロナからの自由を」、「Fun = 一日一日を楽しく過ごす」と自らの f を紹介しました。

[横浜 31 団(8 月 5-9 日)]18NSJ で神奈川第 9 隊のサイトで活動予定だった 87、96、116 団と合同で、団の中田の森でジャンボリーサマーのキャンプを行いました。野営生活をしながら、合同班で日本一プログラムに挑戦し、東京での大集会にも参加しました。

[横浜 61 団(8月 5-10 日)] 瀬の森で 18NSJ と同日程のキャンプを行い、練習した日本一プログラムやジャンボリー大集会のリモート観賞のほか、ボルダリングやゴーカート、川遊びなどのプログラムを満喫。花火大会や BBQ、ドラム缶風呂で長期野営を満喫。途中 107 団が合流し、夜は大いに盛り上がりました。

[横浜 87 団(8月 5-10 日)] 中田の森で合同キャンプに参加し、体や頭を使うスラックラインやモルックで遊んだり、貿易ゲームで交流を深めました。31 団との合同班で日本一プログラムの記録にチャレンジしました。

[横浜 96 団(8月 5-10 日)] 神奈川サテライトの中止が決まってすぐ、中田の森を確保し、神奈川 9 隊の 4 個団に参加を打診して合同キャンプが実現、そろっての開会式ができました。

[横浜 99 団(8月 7-9 日)] 神奈川サテライト予定地に隣接する川崎マリエンキャンプ場に、Edge's 隊として活動している 88 団、115 団と合同でキャンプして、大集会と One Day Jamboree にも参加できました。

[横浜 100 団(8月 5-10 日)] 18NSJ の同じサイトでキャンプするはずだった横須賀や三浦の団に相模原 8 団も参加し、間口港キャンプ場で合同活動をしました。One Day Jamboree や大集会には京浜急行で参加。視覚障害のあるランナーをサポートするガイドランナーの方のお話を聞いて体験したり、日本一プログラムにも挑戦したりしました。

[横浜 116 団(8月 5-10 日)] 中田の森でジャンボリーサマーとして、9 隊での合同キャンプ。大集会へはオンライン参加し、御霊神社での宗教儀礼もあり、銭湯でリフレッシュ。それぞれの「f」も見つけました。最終日の朝は、残り物のわかめとふりかけにミソをぶち込んだ雑炊。

解散時に、18NSJ のパイオニア賞が授与されました。

[三浦 5 団(8月 5-10 日)] 18NSJ の神奈川 11 隊合同キャンプは、救急法講習、教導職のお話、フィッシング、海水浴&サンドアートなど、大集会や One Day へのお出掛けもあって充実の 5 泊 6 日のキャンプでした。撤収日には、会場で着るはずだったそろいの T シャツを着て、「f」のポーズを決めました。

### 【湘南地区】

[湘南地区(8月 5-6 日、8月 9 日)] 湘南地区では、葉山第 1 団、逗子第 1 団、鎌倉第 3 団、鎌倉第 5 団、藤沢第 2 団、藤沢第 6 団、藤沢第 17 団、藤沢第 18 団、藤沢第 20 団のスカウト 35 人、指導者 6 人で地区派遣隊を組織し、4 月 24 日に鎌倉女子大で、神奈川第 12 隊の派遣隊結隊式を行いました。

7 月 17-18 日には、藤沢北部野営場で派遣隊の事前訓練キャンプを行い、隊旗も作り、そろいの T シャツとチーフも用意したのですが、中止となったため、急きよ、8 月 5-6 日に藤沢北部野営場での派遣隊キャンプを実施。火起こしや班旗立て、手旗の日本一プログラムにチャレンジ。夕食はゴーゴーカレーをいただきました。

また、One Day Jamboree のビジョンカー前で披露する、湘南乃風の「睡蓮花」のパフォーマンスも練習。藤沢や鎌倉出身のメンバーがいるグループ湘南乃風が、2007 年にリリースしたのが睡蓮花という歌で、湘南の若者向けの歌詞ですが、中には「真夏のジャンボリー」「灼熱のジャンボリー」という言葉も含まれています。図上でぐるぐるとタオルを振り回す振り付けは、みんなで盛り上がると期待して準備していました。たった 1 晩でしたが、充実したキャンプと

なったようです。

9日の One Day Jamboree では、他地区のスカウトと交流したあと、ビジョンカーのステージ前の最前列に陣取り、タオルをぐるぐる回すパフォーマンスを披露しました。

そしてその写真が SCOUTING 誌の 2022 年 9 月のジャンボリー記念号に大きく取り上げられました。

#### 【県央地区】

[県央ジャンボリーサマー2022(8月5-7日)] 県央地区による公式代替行事「18NSJ 県央ジャンボリーサマー2022」は、愛川町の中津川河川敷にある相模原第 7 団の中津川訓練地で、8月5日から7日の2泊3日で開催されました。

テーマは「つなげ!情熱河川敷 (FAN-tastic Riverside)」。東扇島での神奈川サテライトの「情熱島」をもじって名付けられました。神奈川サテライトの実行委員会では、県央地区がプログラム部を担当して準備してきたため、日本一プログラムのほかにも、「シューティングゲーム」や「パラコードブレスレット工作」など、スカウトが楽しめるプログラムがたくさん用意されていました。

二日目には、全員で班対抗綱引きをしたり、夜には南央カラーガードのパフォーマンスを活かした営火もあり、3日目の朝には宗教儀礼も行われ、昼には撤収。カラーガード隊は大集会に向かいました。

[海老名第 1 団(7月26日-8月1日)] ジャンボリーサマーとして、八丈島でキャンプを行いました。夜行船に乗って島に渡り、海でシュノーケリングをしたり、島の滝を巡ったりしながら、海らしく、バッチリ手旗も練習しました。

[海老名第 3 団(8月5-7日)] 県央サマーに参

加したフクロウ班の見つけた「f」は「favorite」、リス班の f は「friend」でした。

[相模原第 8 団(8月5-10日)] 三浦市の間口港キャンプ場で行われた神奈川 11 隊合同キャンプに参加し、横須賀観光も堪能しました。

[相模原第 10 団(8月5-7日)] ボーイ隊のスワロー・イーグル合同班は、県央サマーの「班旗立て」で、堂々の優勝(県9位)を果たしました。

[大和第 1 団(8月5-7日)] ボーイ隊のコジャグル班は、県央サマーの「手旗」で県央1位(県3位)、火起こしで県央1位(県10位)となり、表彰されました。

#### 【西湘地区】

[茅ヶ崎 3 団、平塚 4 団(8月6-8日)] 神奈川サテライトの 11 隊として同じサイトの予定だった両団のボーイ隊、ベンチャー隊が、湘南平でキャンプをしました。初日の夜は夏祭り縁日と題して、輪投げや的当て、スーパーボールすくいなどで遊び、ベンチャーがシャワールームを作ってくれました。2日目は、場外プログラムとして、ボルダリングやプール遊びも楽しみました。

[寒川第 2 団 VS 隊(8月7-9日)] サテライトの代替隊キャンプとして、長野県諏訪市の手長神社の境内をお借りして野営し、今年御柱祭が行われた諏訪大社4社巡りハイキングを軸とした活動を展開しました。コロナ禍で保留になっていたプロジェクトを元を実施したので、素早く切り替えることができたそうです。

[秦野第 1 団(8月5-10日)] 蓑毛キャンプ場で、サテライトと同じ5泊6日で開催しました。初日は設営、2日目にはゲートを作り、洗面コーナーやシャワールームを作り、3日目にチャ

レンジした日本一プログラムでは、オンラインで登録した時点では「秦野第1団キツネ班」として火起こし全国1位の記録を出しました。夜には、ジャンボリー大集会をYouTubeでライブ視聴しました。

[秦野2団(8月5-10日)] ボーイ隊は「秦野白笹稲荷会場」で5泊のキャンプを行いました。6日には、ビーバー隊で中止となったBBQの食材が差し入れられました。7日は場外プロとしてボルダリングに挑戦したあと、インターネットで筑波1団と交流。夜は大集会にオンライン参加しました。8日には日本一プログラムにチャレンジし、ウルフ班は、班旗立て県内5位、火おこしは県内3位(全国35位)とがんばりました。

[小田原第2団(8月5-10日)] 城山団野営場で5泊のキャンプを行いました。設営やパイオニアリングでのゲート作り、ツリークライミング、箱根小涌谷-箱根湯本のハイキングをしました。4日目には、スタンドアップパドルボード(SUP)やRiverRun(リバーラン)で丹沢湖を堪能しました。5日目はボルダリングと大営火と、充実したキャンプとなりました。

### ジャンボリー日本一プログラム

スカウト技能を日本中で競う「ジャンボリー日本一プログラム」は、18NSJでは「ジャンボリーサマー」と位置づけた隊キャンプでも記録に挑戦でき、県内でも多くのボーイ隊のスカウトが。「班旗立て」、「火起こし」、「手旗信号リレー」の3種目にチャレンジ。火起こしでは、横浜第82団イーグル班が全国2位になるなど、神奈川のスカウティングのレベルを示しました。

日本一プログラムは、2018年の第17回日本スカウトジャンボリーで始まり、石川県の珠洲

に集まったスカウトが現地で取り組みました。

分散開催となった18NSJは、それぞれの会場や参加人数などが異なっても、公平に競えるようなルールを設定。「班として自ら作戦を練り、練習・研究を積み重ね、実力をつけて当日のプログラムにベストな状態で臨む」(日連資料から)ことが出来る内容になっていました。

### 18NSJ 日本一プログラム県内記録(10位まで)

わが旗かざし「班旗立て」

全国1位と県1位で1分超の差

(全国534班、県内56班参加、全国1位0分29.8秒)



(班旗立て県1位横浜第61団ワシ班=左、同3位第2隊川崎ウルフズ=マイザクラ混合班=右)

県順位(全国)	班名	記録
1(42)	横浜第61団ワシ班	1分31.1秒
2(58)	横浜第130団ピーコック班	1分51.0秒
3(66)	神奈川第2隊(川崎地区)川崎ウルフズ =マイザクラ混合班	2分2.2秒
4(68)	神奈川第2隊パブロピカソ =みずごはん混合班	2分3.5秒
5(70)	秦野第2団ウルフ班	2分7.2秒
6(83)	横浜第130団ウッドペッカー班	2分25.0秒
7(91)	秦野第1団キツネ班	2分35.4秒
8(104)	横浜第82団イーグル班	2分45.4秒
9(109)	相模原第10団スワロー・イーグル合同班	2分54.2秒
10(111)	横浜第61団ウルフ班	2分57.3秒

火を絶やすな「火起こし」

全国2位横浜82団イーグル班、1位と26秒差  
(全国350班、県内37班参加、全国1位0分32.4秒)



(火起こし県1位横浜第82団イーグル班)



(火起こし県2位秦野第1団キツネ班)



(火起こし県3位秦野2団ウルフ班=左、同4位横浜96団116団合同班=右)

県順位(全国)	班名	記録
1(2)	横浜第82団イーグル班	0分58.8秒
2(14)	秦野第1団キツネ班	2分51.2秒
3(34)	秦野第2団ウルフ	3分53.3秒
4(43)	横浜第96団ホワイトベアー班 ・116団合同班	4分8.0秒
5(52)	海老名第3団リス班	4分24.3秒
6(60)	横浜第61団コブラ班	4分44.5秒
7(87)	神奈川第12隊(湘南地区)ドルフィン班	5分36.0秒

- 8(102)川崎第49団センカクモグラ班 6分7.7秒
- 9(108)神奈川第12隊ヨット班 6分15.0秒
- 10(124)大和第1団コジャグル班 6分47.1秒

ジョン・ブラン「手旗信号リレー」

全国1位との差は4分超

(全国156班、県内15班記録有、全国1位0分56.4秒)



(手旗県1位川崎第54団バッファロー班=左、同3位大和第1団コジャグル班=右)

県順位(全国)	班名	記録
1(9)	川崎第54団バッファロー班	5分1.3秒
2(13)	神奈川第14隊たまご班	7分35.0秒
3(76)	大和第1団コジャグル班	18分34.0秒
4(108)	神奈川6隊(横浜地区)オコジョ班	21分9.3秒
5(111)	神奈川第14隊(県央地区)あまえび班	22分12.0秒
6(113)	神奈川第14隊ほたて班	22分28.0秒
7(116)	相模原第10団スワロー・イーグル合同班	23分51.0秒
8(127)	厚木第4団イーグル班	25分0.0秒
8(127)	厚木第3団コブラ班	同上
8(127)	平塚第3団イーグル&ウルフ班	同上

(県順位のデータは、日本連盟の18NSJWebサイトにエントリーがあった神奈川連盟所属団の記録をまとめました)

## 横浜カラーチーム・県央カラーガード



全国のスカウトにも存在をよく知られている神奈川連盟のユースの活動に、フラッグパフォーマンスがあります。

久しぶりに復活した県央カラーガード隊は、18NSJに向けて2022年3月に再結成して訓練を開始。本番に向けて準備を重ね、大田区総合体育館での18NSJのジャンボリー大集会では、全国の県連のプラカードとして活動しました。

一方、横浜地区とみなと地区合同の横浜カラーチームは、3年ぶりにみなと祭りの「ザよこはまパレード」に参加し、大集会でも演技を披露しました。

8月9日の川崎市でのOne day Jamboree 東扇島のステージでは、まず県央カラーガード隊が訓練してきたドリルを披露し、横浜地区の横浜カラーチームがパフォーマンスを披露。集まったスカウトたちを魅了しました。

エンディングでは、100周年記念ソングで18NSJのテーマ曲でもある「ボーイスカウト～いま 高き峰へ」に合わせて、両カラーが合同のダンスパフォーマンスを展開し、会場を盛り上げてくれました。

One dayのステージ終了後は、互いに向き合っ  
てエールの交換をしたあと、全員で記念写真に  
収まりました。(上写真)

## JAMBOREE NEWS in kanagawa を作成

18NSJ神奈川サテライト実行委員会の広報部は、「やまゆり」も担当している県連組織戦略委員会が中心になって組織しましたが、神奈川サテライトに参加予定の県内外のローバーらも広報チームに参画しました。

サテライト実行委員会としての広報誌となる予定だった「JAMBOREE NEWS in kanagawa」は、この「やまゆり」の号外として、0号、1号をオンライン配信、2号はこのやまゆりと同時にオンライン配信となりました。県内の各団からの投稿写真などを元に責任デスクをしたのは、福島連盟桑折1団の渡邊希亜ローバー。埼玉県内の大学に通いながら、準備段階から企画会議の中心となって活躍し、素晴らしい紙面を編集してくれました。

また、One day Jamboree 東扇島では、平塚4団の佐藤諒弥ローバーと同団の池亀圭ローバー、渡邊ローバーが、オンライン中継やインタビューで活躍。鎌倉2団の広川誠ローバーは、自宅からコンテンツ作成やオンライン配信の支援で働きました。

JAMBOREE NEWS in kanagawa の0号から2号までは、こちらからダウンロード出来ます。



0号



1号



2号

=====

日本ボーイスカウト神奈川連盟 広報紙 『やまゆり』  
題字 元連盟長 津田 文吾 (当時神奈川県知事)  
発行 令和5年(2023年) 2月 日  
発行人 日本ボーイスカウト神奈川連盟理事長 濱田雅弘  
編集人 神奈川連盟組織戦略委員会 委員長 境 紳隆